ジュゴン訴訟の流れ

2003年9月	日米の環境保護団体などが原告となり米国防総省を相手にサンフランシスコ連邦地裁へ提訴
05年3月	中間判決で米国防総省の棄却申し立てを却下、本案審理に入る
08年1月	判決。国防総省へジュゴンへの悪影響を回避、軽減するため「考慮する」手続きを取るよう命じる
09年11月	防衛局が環境アセス準備書を提出
10年3月	国防総省が専門家によるジュゴンの調査報告書をまとめる
11年12月	防衛局が環境アセス評価書を提出
12年2月	連邦地裁が裁判を休止する決定
14年4月	国防総省が08年判決に応えて日本の辺野古アセスを基にした推奨報告書の完成を裁判所に通知
7月	防衛局が工事に着手。原告団が工事の中断を追加申し立て
8月	連邦地裁が訴訟再開の申し立て受理
15年2月	連邦地裁が「外交問題である基地工事の中断を命じる法的権限はない」として申し立て却下
4月	原告団が連邦地裁判決を不服とし、第９巡回区控訴裁判所に控訴
17年3月15日	控訴審が結審
8月21日	第９巡回区控訴裁判所が連邦地裁の判決を覆し、地裁に審理を差し戻す判断を下す
18年3月12日	米国を訪れた翁長雄志知事が、県が利害関係者であることを表明する意思を初めて示す

揺らぐアセスの信頼性

米専門家チーム 報告書で否定

国防総省の専門家による「沖縄ジュゴンの人類学的調査」報告書の骨子

- 国家歴史保存法が求める沖縄のジュゴンの文化的重要性の保護には個体群の維持が必要。
- 普天間代替施設の建設、運用がジュゴンの個体群に影響を与える可能性はある。
- 生物学的保全の条件が整えばジュゴンの個体群に全般的に悪影響を与えることはない。
- 沖縄防衛局の環境アセス（準備書）はほとんど価値がない。

新基地建設に影響も

解説　名護市辺野古沖の新基地建設によるジュゴンへの影響を巡り、沖縄防衛局の環境影響評価（アセスメント）の妥当性を否定する米国防総省の専門家チームの報告書が明らかになった。日米両政府が建設を進める法的・科学的なよりどころとしてきたアセスの信頼性が揺らぐ事態だ。米国での訴訟でジュゴンの環境保全策の不備が認められた場合、新基地建設に大きな影響を与える可能性もある。（中部報道部・篠原知恵）＝1面参照

新たに開示された専門家の報告書は、アセスの結果と共に、同省が14年に「ジュゴンに影響なし」と結論づけた「推奨報告書」の根拠の一つとされた。これまで公にされず、原告が長年開示を求めてきた。

準備書は、環境への影響の予測・評価と環境保全に関する防衛局の考え方をまとめたアセスの土台だ。それを専門家が否定したにもかかわらず、「影響なし」の結論となったのか。専門家が米政府に送った電子メールには「外交的にやる必要がある」と政治的配慮がにじみ、一連の経緯解明が訴訟の焦点となりそうだ。

国防総省は、推奨報告書をもって米国家歴史保存法（ＮＨＰＡ）の手続きを踏んだとし、建設に必要な基地内立ち入り許可を日本側に出してきた。「差し戻し審」で原告が、同手続きや推奨報告書の不備を立証し、米連邦地裁に再び許可の一時停止命令を求める可能性もある。

辺野古の埋め立て承認の前提となった防衛局の環境保全措置が、「辺野古ありき」の結論を導くため、恣意的にゆがめられたと判明すれば、翁長雄志知事が承認を撤回する材料になる。

普天間飛行場のオスプレイ配備計画も、ジュゴン訴訟での資料開示で初めて明らかになった。沖縄の民意を無視する形で辺野古の工事を進めながら、肝心な資料や情報を出さない日米両政府の隠蔽体質に批判が集まるのは免れない。

識者ら以前から問題視

国の調査法 ほぼ変わらず

沖縄防衛局が2009年にまとめたアセス準備書を問題視する意見は、県内でも根強くあった。前知事は全般的な項目にわたって「書き直し」を求め、60項目502件の不備を指摘。修正を重ねた防衛局は14年に、アセス手続きの最終段階となる「補正評価書」の提出に至ったが、個体群存続可能性分析（ＰＶＡ）などを取り入れた以外に調査手法の大枠は変わらず、現在もジュゴン保護策の根幹を成しているのは準備書だ。

防衛局は準備書の調査で、辺野古沖にジュゴンが確認されなかったとしたが、09年当時から県内の識者は調査手法を問題視。騒音が生じる調査でジュゴンが寄りつかなくなったなどと批判した。準備書作成で防衛局が助言を得た「専門家」の氏名は全員黒塗りで伏せられ、市民が開示を求めて訴訟も起こした。

県は補正評価書段階でも「懸念が払拭できない」との立場だったが、前知事は13年に辺野古沖の埋め立てを承認。翌年には辺野古でジュゴンの食み跡が大量に発見されたが、辺野古沖での作業が本格化した15年以降は確認されていない。防衛局は昨年10月、ジュゴンについて「影響は考えにくい」「生息状況に変化はない」と事後調査を報告したが、県の環境影響評価審査会では疑問が相次いだ。

米ジュゴン訴訟の経緯

2003年提訴 12年一時休止 15年原告敗訴 17年原告適格認め差し戻し

ジュゴン訴訟は2003年、日米の環境保護団体やジュゴン自身が原告となり、米国防総省を米連邦地裁へ提訴して始まった。中間判決では「ジュゴンは県民にとって文化的、歴史的にも重要で、国家歴史保存法（ＮＨＰＡ）の適用が認められる財産だ」と判断。国防総省の棄却申し立てを却下し、実質審理に入った。

連邦地裁は判決で、ジュゴンへの悪影響を回避、軽減するため「考慮する」手続きを取るよう国防総省に命令。だが、12年2月に日本のアセスが継続中であることや、民主党政権下で新基地建設の進展が「ほど遠い状態にある」ため裁判は一時休止となった。この間の10年3月に、「考慮する」手続きの一環で、国防総省の専門家がジュゴンの調査報告書をまとめていたことが今回、明らかになった。

14年4月に国防総省は「推奨報告書」を提出し、地裁に求められた手続きを「完了した」とした。同7月には沖縄防衛局が工事に着手。原告団は工事の中断を追加で申し立てたが15年2月、連邦地裁は「外交問題である基地工事の中断を命じる法的権限はない」として退けた。同4月、原告団が連邦地裁の判決を不服とし、控訴裁判所に控訴。17年に控訴裁判所が原告適格を認め、審理を差し戻す判断を下した。

今年に入ってから、稲嶺進前名護市長が訴訟の「利害関係者」だと表明。翁長雄志知事も、表明する意思を示しており、県は訴訟の利害関係者としてジュゴン保護について協議するよう求める文書を月内に米国防総省に送付する。

万人アリーナ建設につい

推進派

建設費用が市議会で
源の根拠も需要予測
（3日の政策発表）

アリーナが人を呼び込
新たなビジネスチャン
も計り知れない（7日の

アリーナ計画を検証
ルの誘致、アリーナと
かなどを考えることが

本体工事の価格は公
細は発表できないが、
整備するめどが付いて

現市政のアリーナ計
物より暮らしの応援が

負担軽減するのは当
補助を求めている。運
ゴールデンキングスの
上げられる（14日の公

桑江朝千夫氏

民、公明、維新推薦＝の両候補がそれぞれの政策を訴え激しく論戦を展開している。従来の市長選では泡瀬干潟埋め立て事業の是非が主な争点となったが、今回は1万人アリーナ建設の是非を巡り議論が対立。両候補が交わしたこれまでの発言をまとめた。

沖縄市長候補 諸
沖縄県知事
参議院議員
議員

街頭大演説会でガンバロー三唱で気勢を上げる諸見里宏美氏（左から3人目）ら＝17日、沖縄市の胡屋十字路

進、希望推薦＝の街頭大演説会が17日、市胡屋十字路であった。諸見里氏は待機児童解消に向けて真っ先に保育士の待遇改善に取り組むとし「待機児童ゼロを宣言し、しっかりと貫いていく」と決意を述べた。

現市政が進める1万人規模の多目的アリーナ建設に

結び付けていく」と訴えた。

記局長の小池晃参院議員や

支持を訴えた。

9市町村 9月9日投開票

統一地方選 5町村も予定

県内30市町村の議会議員選挙が集中する2018年の統一地方選で、各市長選選挙管理委員会が投開票日を9月9日と確定または予定しているのが14市町村に上ることが17日、本紙のまとめで分かった。

確定したのは宜野湾と石垣、名護、南城、大宜味、読谷、北中城、西原、八重瀬の9市町村で、大宜味村は村長選と同日となる。予定は北大東、恩納、中城、南風原、粟国の5町村。告示は市が2日、町村は4日となる。北谷町は9月2日で確定させ、渡嘉敷村は同日の予定。本部町長選も同日実施される。

このほか南大東は村長選と村議選を6月24日に実施する。豊見城市長選は10月7日告示、14日投開票を決めている。

沖縄やうるまなど13市町

村の議会議

が決らず、

知事選 翁長氏擁立を

与党調整会議 議長選任は

翁長雄志知事を支える県政与党の幹部らは17日、那覇市内で今秋実施予定の知事選に向けた調整会議を開き、次期知事選で翁長氏擁立を目指すことを確認した。調整会議を取りまとめる議長の選任は継続協議となり、当面、前回知事選時に議長を務めた新里米吉県議会議長が代行する。

政党や労組、企業などでつくる調整会議は、前回知事選で翁長氏の選挙対策本部内に設置され、保守、革新、経済界の意見調整や選挙の司令機能を担った。

会合後の会見で新里氏は、調整会議にオール沖縄会議を離脱したかりゆしグループが参

したことも

この日は

した。金秀

中という。

議長は、

出すべきだ

会経験の

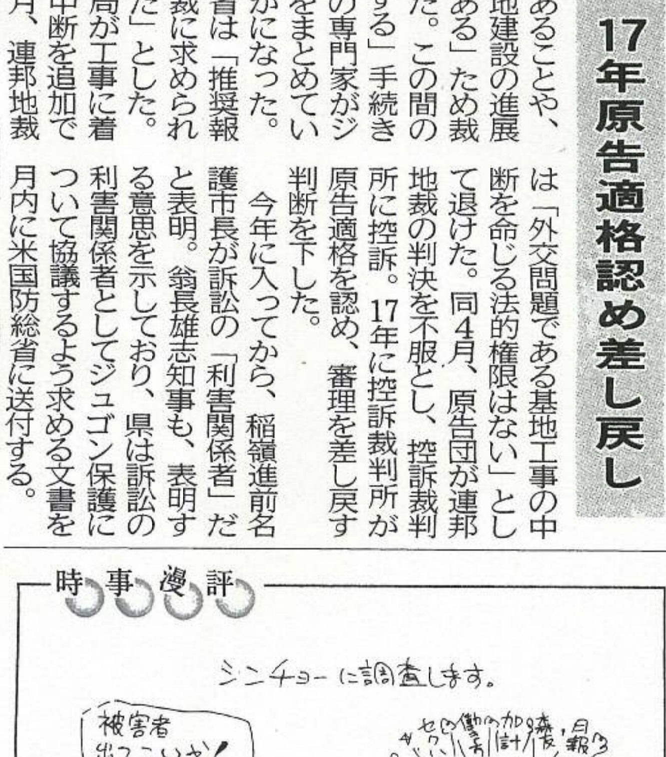
も上がって

よると、

る翁長氏

と、その後

時事漫評


シンチョーに調査します。
被害者出てこいや！
セクハラ
働き方
加計
森友
日報
ねえセクハラってな〜にさわっていい？
事務次官

国

沖縄防衛

市辺野古の

の埋め立て

かった、希

メサンゴ」

一度不許可

別採捕許可

た。これま

た環境省の

沖縄県内書店にて
ロングセラー中！
がん執刀医としての圧倒的経歴の上に基づいた
「人それぞれのがん治療」
「生
考
望
が